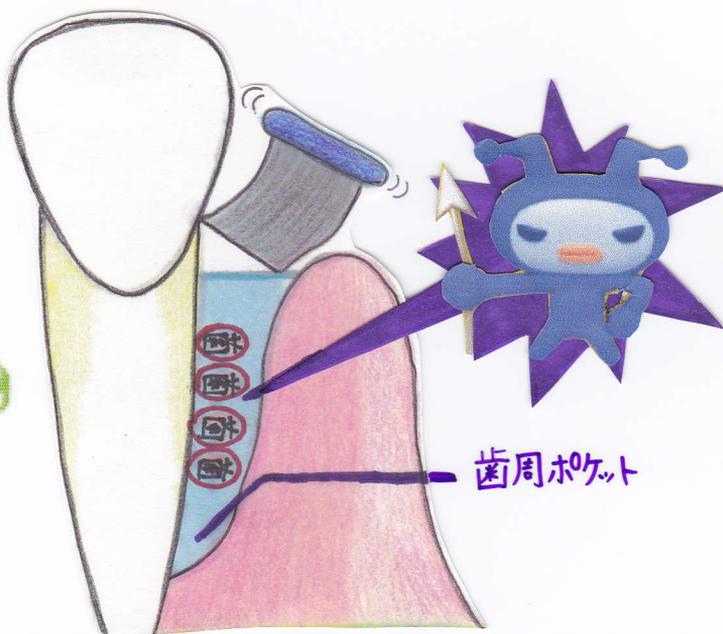


歯周病は、初期から中期ではその多くは、無症状です。しかし病状が進行すると、歯と歯肉の間・ポケット奥深くまで歯周病菌に侵され、歯を支える骨が溶けてしまい、最終的には、歯が抜け落ちるという恐ろしい症状にまで発展する慢性疾患です。

～ 歯周ポケットの細菌が大敵 ～



歯周病菌は「歯周ポケット」といわれる歯の周りの深い溝の中に住んでいます。

この溝の中は歯ブラシが届きにくく、歯周病菌にとってはとても好ましい環境となっています。しかも歯周病菌は「細菌バイオフィルム」と呼ばれるバリアーの様なものに守られているので、薬や体の免疫も働きづらいのです。

従って歯科衛生士などの専門家による機械的除去が必要となります。

初声歯科クリニック 9周年アニバーサリー

